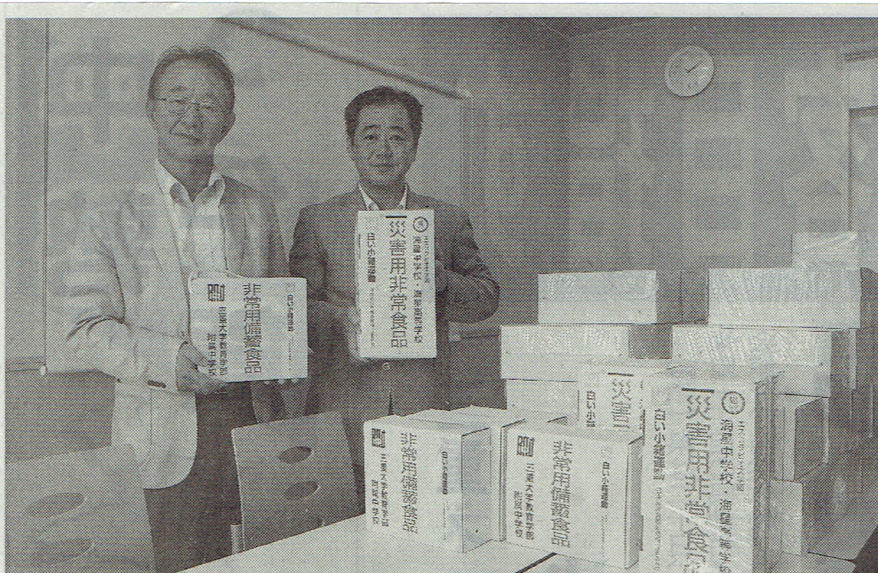


# 里山学院に災害備蓄品

鈴鹿

三重大付属中、海星中高卒業生が寄贈

【鈴鹿】鈴鹿市上箕田一丁目の児童養護施設、鈴鹿里山学院(榎本英典院長)で二十日、災害用備蓄品「白い小箱」の贈呈式があり、三重大教育学部付属中学と海星中学、同高校の平谷賢治代表理事(事務局



寄贈された災害用備蓄品「白い小箱」を手にする榎本院長(左)と小谷代表理事＝鈴鹿市上箕田1丁目の鈴鹿里山学院で

・四日市市浮橋一丁目Ⅱが取り組む個人備蓄啓発活動の一環として、県内では小学校から短大までの十六校が防災教育の一環として生徒や教職員の災害用備蓄品として「白い小箱」を導入している。

今回の寄贈は、地域貢献学習の一環として三校の卒業生五十人から寄付された小箱を活用。

贈呈式には古谷代表理事(四七)が出席し「鈴鹿市では初めて。今後、白い小箱運動が広がることを期待している」と話した。

寄贈を受け、榎本院長は「災害用備蓄としてだけでなく有効活用したい」と話した。